

お問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部 技術・国際課
海洋情報渉外官 三宅武治
電話 03-3541-3685



平成 21 年 5 月 1 日
海 上 保 安 庁

国際的な海図の専門家の育成のための 新たな研修について

海上保安庁は、国際水路機関（IHO）と英国海洋情報部（UKHO）等と共に、国際水路機関海図専門家の育成及び専門家間の国際的ネットワークを構築するため、新たな研修を立上げ、アジアを中心とする世界各国からの研修員に対して、今年の秋から研修（日本キャパシティビルディングプロジェクト）を行うこととしました。

世界の航海用電子海図（ENC）の整備が進む中、電子海図が整備されていない海域（空白海域）が存在している国の海図専門家に対し、海図作成及び海図の電子化並びに最新維持の技術を身につけさせ、ENC 刊行の促進を図ることが喫緊の課題となっています。

このため海上保安庁では、日本財団と協力し、国際水路機関（IHO）、英国海洋情報部（UKHO）、及び財団法人日本水路協会（JHA）とともに、下記のとおり海図専門家育成の研修（日本キャパシティビルディングプロジェクト）を行うこととしました。

IHO において、このような包括的な研修が行われるのは今回が初めてです。

記

1. 研修期間

平成 21 年 9 月 7 日から 12 月 18 日

2. 研修場所

英国海洋情報部（UKHO）

3. 研修内容

海図作成、測量データ処理、電子海図の 3 単位（各 5 週間）

4. 研修員

IHO からの研修員募集に対し、定員（6 名）を遙かに上回る 41 カ国から 49 名もの応募（IHO 非加盟国からの応募を含む）があり、4 月 22 日に IHO 事務局において開催された選考委員会により厳正な選考がおこなわれた結果、

インドネシア、マレーシア、フィリピン、パキスタン、ケニア、トルコの 6 カ国から各 1 名ずつの研修員が選考されました。

(参考)

航海用電子海図 : Electronic Navigational Charts (ENC)

船舶の安全で効率的な運航を支えるため、海図情報を電子化した海図。

国際水路機関 : International Hydrographic Organization (IHO)

航海の安全及び海洋環境の保護を支援するために 1921 年に設立された政府間の諮問的、技術的機関 (80 カ国加盟)。

英国海洋情報部 : United Kingdom Hydrographic Office (UKHO)

財団法人日本水路協会 (JHA) :

海上交通の安全のための海図の他にも多種多様な図誌類の刊行及び海洋に関する科学的・基礎的資料の整備とその解析・提供を行うため、昭和46年3月に設立された。

選考委員会 : 海上保安庁、日本水路協会、IHO、UKHO の代表者で構成される。